

# 高齢者のワクチン接種、1回目は63%に

## 新型コロナ対策特別委、市への緊急提言まとめる

新型コロナ対策特別委員会が1日、開催されました。この中で市は、高齢者の新型コロナワクチン接種状況について説明したほか、これまで特別委員会が議論してきたPCR検査の拡充や事業者の減収補てんなどについて見解をのべました。

このうち高齢者ワクチン接種については、5月30日現在、接種希望のあった6万3000人のうち、1回目接種が3万8336人(63.6%)になって

いることが明らかにされました。

高齢者の接種は、①介護保険施設等の入所施設での施設集団接種、②医療機関76か所での個別接種、③公共施設など9か所で行われている集団接種の3つに分類されますが、③の集団接種は2万2648人(71.9%)まで進みました。これは全国的に見ても、県内で見ても先進をいく数値だと思えます。一方、優先されるべきとされていた①の施設集団接種は、高齢者が809人(16.2%)、従事者が342人(8.6%)にとどまっています。

注目の新型コロナワクチン接種に関しては、委員や番外

接種区分	接種見込者数	1回目接種済	2回目接種済
施設集団接種 (介護施設等入所施設)	(高齢者) 5,000人 (従事者) 4,000人	(高齢者) 809人 (16.2%) (従事者) 342人 (8.6%)	(高齢者) 395人 (7.9%) (従事者) 159人 (4.0%)
個別接種 (医療機関76か所)	23,800人	14,879人 (62.5%)	
集団接種 (公共施設等9か所)	31,500人	22,648人 (71.9%)	
接種希望なし	1,200人		
※高齢者全体では	60,300人	38,336人 (63.6%)	395人 (0.7%)



【ユリノキ】モクレン科の落葉高木。漢字で「百合の木」と書きます。北アメリカ中部原産。明治時代の初期に日本に渡来したといわれています。花期は5月から6月。花は鐘型で、枝先にチュウリップのような花を咲かせます。色は黄緑色ですが、付け根の近くにオレンジ色の斑紋があります。花言葉は、「見事な美しさ」「幸福」。写真は5月26日、吉川区山直海の旧源中学校敷地(忠霊塔近く)にて撮影。

の平良木議員が、「個別接種ではあてにした医師が接種を断るケースがあった。どういった判断基準でやっているかわかるようにしてほしい」「施設集団接種は一般の集団接種に比べて低い。本来優先すべきところが遅れているのはなぜか」「施設集団接種では、65歳以下の人も一緒にやればいいのか」「市内在住の外国人への接種はどうか」「市内在住の外国人への接種はどうなっているか」などの質問が相次ぎました。

これに対して市側は、「個別接種について、医師から自由記載で『判断基準』を書いていたかどうかを願っています」「施設集団接種を担当する医師は学校の健診と重なったことや接種のやり方を習熟する時間が必要だったこともあり、こういう数字になっている。今月は1日に最大で17か所実施する計画で、7月末までには終了の予定だ」「施設では65歳以下の入所者もお掃除の人も接種している」「外国人については65歳以上はすでにやっている。65歳以下についても外国人専用の予診票などを用意している」と答えました。

- 一、PCR検査費用の支援  
感染経路不明なクラスターが発生していることから、介護施設・福祉施設などの職員等に対し、市独自でPCR検査費用を支援するなど、継続的な感染防止対策を図ること。
- 二、生活困窮世帯及び低所得世帯への支援拡充  
生活困窮世帯などに対し支援をおこなっているフードパントリー活動団体などへ、緊急的に支援を拡充すること。
- 三、減収が続く事業者への継続的支援  
減収が続く事業者への「中小企業者チャレンジ応援事業補助金」及び「プレミアム付商品券発行支援事業」の期間延長、また「事業者経営支援金」の再支給など、継続的な支援を行うこと。以上

# はしづめ法一の活動レポート

**No.2014 2021.6.6**  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見え方」はこちら  
  
 橋爪法一 検索

# 春よ来い 第六六一回 夜中の対話

日中は朝から出かけることが多く、母と話をする時間をなかなかとれずにあります。夜は私の帰りが遅くなっても、母と同じ部屋で寝ていますので、風間に比べたら、話をするチャンスはあります。

もうひと月以上も前の夜の事です。何がきっかけだったのか、すっかり忘れてしまいました。母が虫場に住んでいた頃のことを話し始めました。

「どしたか」

「ネコ、手を前に出して、"いらっしやいませ"してと」

「そりゃ、たいしたもんだ」

「ホトラバにネコ、二ついたもんだけど、どしたかな」

「はえ、いねこね」

「ほっか、いいネ」だったでもな」

わが家が虫場にあったのは昭和五七年の秋までです。「いらっしやいませ」のネコは夢の中に出てきたのだと思います。そして、虫場の家のネコの話は三九年も前の話です。母の頭の中では昔のこととも今のこととも横並びになっているようです。

次は、五月下旬のある晩のこと、時間は深夜の午前一時近くになっていました。ベッドに寝ていた母が突然目を開け、回りを見渡し、どうしたんだらうという表情をしました。

「どしたか」

「いい歌、聞いとー」

「へー、とちやか」

「うん、子ども」

「子どもが歌、歌ってたがか」

「うん」

「そりゃ、いかったね」

「うん」

「寝ないや」

「うん」

「こごでいうとちや」は、父、照義のことです。父は田んぼでも牛舎でもよく歌を

歌っていましたから、母は夢の中で父の歌を聞いたのかと思ったのですが、そうではなく、子どもたちがした。

母が夢の中で聞いたという子どもの歌声は、誰だかはわかりません。ただ、牛飼いをしていた頃のわが家の牛舎には、近くの子どもや保育園、小学校の子どもたちがよくやってきていました。母は、そうした子どもたちのことを思い出していたのかも知れません。

これも五月下旬の夜の事、私が遅くなって家に入った日でしたから、午後一時過ぎだったと思います。寝室に入ると、寝ていると思った母がベッドのところにちよこんと座っていました。その時の母との会話です。

「どしたか」

「しっこしたか」

「へえー、そりゃ、えらいもんだ」

「なして、それくらいできるや」

「そっかね、えらい、えらい」

「早く寝ないや」

「うん」

九九歳で他界した板山の母の姉は退院後も寝たきりにならないように、はってでもトイレに行ったりと聞いています。母もその血筋ですから、どんなに具合が悪くなっても自力で頑張る意思が強いようです。

最後はつい先だつての深夜です。時間は午前の二時、三時頃だと思っています。寝室の電気が点いて明るくなっていたので、目が覚めました。見ると、母がまたベッドのところに腰掛けて「ニ」ニしていました。

「どしたか」

「ふふふ」

この日、母は昼間も眠ったのでしようか。私の方は眠たくて、朦朧(もうろう)としているのに、母の方は細い目をしっかりと開けて笑っていたのです。母との夜中の対話は、まだまだ続きそうです。

## 6月議会は7日から始まります

6月定例議会が7日から始まります。今議会も新型コロナウイルス対策、災害対策が中心になりそうです。7日には私が総括質疑で登壇します。

## 6月議会の審議日程 (会議開始はいずれも午前10時)

日(曜日)	会議名	場所	備考
7日(月)	本会議	議場	議案提案、質疑
8日(火)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
9日(水)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
10日(木)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
11日(金)	総務委員会	第1委員会室	橋爪が所属
14日(月)	一般質問	議場	
15日(火)	一般質問	議場	
16日(水)	一般質問	議場	
17日(木)	一般質問	議場	
21日(月)	本会議	議場	議案などの採決

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月26日(水)	6月2日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	0.047	0.037
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.047	0.053
頸南消防署	0.060	0.070
東頸消防署	0.057	0.053
名立分遣所	0.067	0.053
高士分遣所	0.053	0.053

## 豪雪被害に負けず、販売開始



先の豪雪で8棟のハウスのうち6棟が倒壊した吉川区大乘寺の山岸農園が、残ったハウスで栽培したトマトの販売をスタートさせました。

同農園では倒壊したすべてのハウスの再建し、トマト生産活動を再開させています。いまは少ししか店頭には並んでいませんが、まもなく一杯並ぶはず。今年も味は抜群、頑張っているものです。